



### ローテーションの最終防除に アミスター20フロアブル。 貯蔵中の灰色腐敗病を抑えてくれたよ。

佐賀県杵島郡白石町 久野 敏和さん(44歳)



府県産では全国一の作付面積を誇る佐賀県の「白石たまねぎ」を手がけるベテラン農家、久野敏和さんをおたすねしました。たまねぎ4haを作付する久野さんの主力品種は、晩生の「ターザン」。「たまねぎづくりで重要視するのは、排水対策と病害虫防除」と語る久野さんが、その中でもことさら重要と考える病害は、貯蔵中の灰色腐敗病とべと病の2つです。

「4月中旬から5月中旬にかけては、「べと病」が発生しやすい時期だから怖いし、灰色腐敗病は貯蔵中に症状が現れて広がるでしょ。そうなると、加工用か廃棄になっちゃうから要注意なんだ」。

久野さんは、地元の農業資材販売店・有限会社杵島農材から薬剤の説明を受け、昨年はじめてアミスター20フロアブルを使用しました。昨年は、生育初期にフオリオブラボ顆粒水和剤、生育中期から後半にかけては、ローテーション防除のなかで、レーバスフロアブルとリドミルMZ水和剤などを使用し、べと病を防除。最終防除として2回以上(使用回数は4回以内)、アミスター20フロアブルの2000倍液を反当り200L散布しました。

「べと病がきちんと抑えられたからうれしかったよ。さらに、一番助かったのは、貯蔵病害が抑えられたこと。ターザンは6月中旬から収穫するんだけど、最終防除にはアミスター20フロアブルを使ったよ。おかげで貯蔵中の灰色腐敗病が出なかった。これは助かったね」。

もちろん来年もアミスター20フロアブル、と久野さん。今後は、効果の確かな薬剤で防除回数を削減していきたい、と省力化をめざします。



### シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。 ®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空容器、空袋等は農場などに放置せず適切に処理してください。 。

※2010年11月1日現在の情報です。